

IV. CAI形態と適合システム及び授業形態との適合性

VTR、CAI及びテキストなどの学習システムに対する各CAI形態と適合システム及び授業形態との適合性は次のようになる。

CAI形態	目標	適合システム	VTR	CAI	マルチメディア CAI	テキスト	集合教育		
							一斉授業	個別学習	グループ
インストラクション形式	未知の知識、概念の紹介、 動機付け		◎	△	○	△	○		
ドリルトレーニング形式	反復学習、問題解決の中での 知識の定着、技術の向上		×	○	◎	○		○	
テスト形式	実力判定 成績処理		×	○	◎	○		○	
チュートリアル形式	インストラクション、ドリル、テストの 複合、ステップバイステップの学習		×	△	◎	△		○	○
シミュレーション形式	ケーススタディ、判断、推進力の養成、 応用力の養成、時間的 ファクターの学習		×	○	◎	×		○	○
ゲーム形式	腕試し、 楽しい学習の雰囲気づくり		×	○	◎	×		○	○
問題提起形式	自己啓発、発想の転換		◎	×	○	×			○
ケーススタディ	問題の発見、思考力の確立 推理力養成		×	○	◎	×			
							◎：最適 ○：普通 △：やばできる ×：不適當 ○：適合		



マルチメディア型CAIの音声特性について調査をする